

ポ ン 一 ヨ 「**a a**」に評価を引き上げ コ シ ー ジ レ J C R 中堅・中小企業格付け

格付会社の日本格付研究所（J C R）は、フジコーポレーション（本社・長野県佐久市、

山口幸男社長、☎02
67・66・666

8）に対する「中堅・中小企業格付け」の評価を「a a」（財務面から見た信用力は非常に高い）に引き上げた。

環境保全積立金を勘案した実質的な収益力は高く、現在、供用する「フジ式直壁型最終処分場」（同小諸市）の建設費用などに充てた借入金も08年2月期に全額返済。財務構成も強固と判断した。J C R

によると「現時点で公開されている中では最も評価が高い」という。

同格付けは、中堅・中小企業（年商5億円以上、金融商品取引法の非開示会社）を対象に、財務的な信用力を評価するもの。同社が昨年5月に行った同格付けの評価は「a」（財務的に見て高い信用力が認められる）だった。山口藤吉郎会長は「企業の継続性を客観的に評価することで、許可権者や排出事業者となる自治体、地元住民に対する信頼につな

がる。ひいては、業界全体の地位向上につながるはず」と語る。

事業では、廃棄物をセメント混練して盛土材をつくり同社処分場に圧密成形するリサイクル工法を確立。昨年末から今年にかけて、長野県、地元小諸市から「移動式重金属固定・セメント混練施設」として産業廃棄物、一般廃棄物処分業の許可を取得。リサイクル証明の発行も可能になった。

さらに、次期圧密成形の用地（埋立地）170万立方メートルの設置計画についても、地元関係者らとの公害防止協定書の取り交わしを終えている。